別紙３

備え付けないこととなつた銃一覧

射撃場の名称				
射撃場の種別	□教習射撃場　□練習射撃場			
番号	銃種	型式	公称口（番）径	銃番号

備考　１　今回備え付けないこととなつた銃全てについて記載すること。
２　型式欄には、猟銃にあつては単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を、空気銃にあつてはレバースプリング式、ポンプ式、圧縮ガス式、プリチャージ式等の別を記載すること。
３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙２

新たに備え付けられた銃

射撃場の名称				
射撃場の種別	□教習射撃場　□練習射撃場			
備付け銃	備え付けた日	年　月　日		
	種類			
	型式		銃番号	
	メーカー名		銃の全長	センチメートル
	モデル名等		銃身長	センチメートル
	公称口（番）径		弾倉型式及び充填可能弾数	
	銃腔内腔旋割合	□1/5以上1/2以下　□1/2超	適合実（空）包	
	特徴			
	備考			
譲渡（貸付）人	住所 氏名 電話番号			

備考　１　新たに備え付けられた銃ごとに作成すること。
２　型式欄には、猟銃にあつては単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を、空気銃にあつてはレバースプリング式、ポンプ式、圧縮ガス式、プリチャージ式等の別を記載すること。
３　モデル名等の欄には、そのモデル名を記載し、モデル名が不明の場合は、年式等の別を記載すること。
４　銃腔内腔旋割合欄には、腔旋を有する部分が銃腔の長さに占める割合に該当する事項の□内にレ印を記入すること。
なお、ライフル銃以外の銃砲については、記載することを要しない。
５　特徴欄には、銃床の折畳み式、伸縮式、着脱式の別又はその銃砲を特定するために必要な彫刻、傷、修理の跡等について記載すること。
６　銃番号欄には、銃砲の機関部に打刻されている番号を記載すること。ただし、機関部に打刻番号がない銃砲については、銃身部（機関部と分離できない構造のものに限る。）に打刻されている番号を記載すること。
７　銃の全長欄には、銃口先端から銃口中心線の延長と銃の最後部に接する線が直角に交わる点までの長さを記載すること。
８　銃身長欄には、銃口の先端面から包底面までの長さを記載すること。
９　弾倉型式及び充填可能弾数欄には、箱型（着脱式又は固定式）、チューブ型、回転式等の別及び弾倉に込められる実包等の数を記載すること。
10　適合実（空）包欄には、その銃砲に通常使用される実包又は空包の名称を記載すること。
11　空気銃射撃競技のための射撃練習の用途に供する空気銃である場合には、その旨を備考欄に記載すること。ただし、空気拳銃については記載することを要しない。
12　譲渡（貸付）人欄には、当該銃砲の譲渡（貸付）人の住所、氏名その他必要な事項を記載すること。
13　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙３

備え付けないこととなつた銃一覧

射撃場の名称				
射撃場の種別	□教習射撃場　□練習射撃場			
番号	銃種	型式	公称口（番）径	銃番号

備考　１　今回備え付けないこととなつた銃全てについて記載すること。
２　型式欄には、猟銃にあつては単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を、空気銃にあつてはレバースプリング式、ポンプ式、圧縮ガス式、プリチャージ式等の別を記載すること。
３　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。

別紙２

新たに備え付けられた銃

射撃場の名称				
射撃場の種別	□教習射撃場　□練習射撃場			
備付け銃	備え付けた日	年　月　日		
	種類		銃番号	
	型式		銃の全長	センチメートル
	商品名等		銃身長	センチメートル
	公称口（番）径	ミリメートル インチ 番	弾倉型式及び充填可能弾数	
	特徴		適合実（空）包	
	備考			
譲渡（貸付）人	住所 氏名 電話番号			

備考　１　新たに備え付けられた銃ごとに作成すること。
２　型式欄には、猟銃にあつては単身ボルト式、単身元折式、単身自動式、上下二連元折式、水平二連元折式等の別を、空気銃にあつてはレバースプリング式、ポンプ式、圧縮ガス式、プリチャージ式等の別を記載すること。
３　商品名等の欄には、その商品名を記載し、商品名が不明の場合は、年式等の別を記載すること。
［加える。］
４　特徴欄には、銃床の折り畳み式、伸縮式、着脱式の別又はその銃砲を特定するために必要な彫刻、傷、修理の跡等について記載すること。
５　銃番号欄には、銃砲の機関部に打刻されている番号を記載すること。ただし、機関部に打刻番号がない銃砲については、銃身部（機関部と分離できない構造のものに限る。）に打刻されている番号を記載すること。
６　銃の全長欄には、銃口先端から銃口中心線の延長と銃の最後部に接する線が直角に交わる点までの長さを記載すること。
７　銃身長欄には、銃口の先端面から包底面までの長さを記載すること。
８　弾倉型式及び充填可能弾数欄には、箱型（着脱式又は固定式）、チューブ型、回転式等の別及び弾倉に込められる実包等の数を記載すること。
９　適合実（空）包欄には、その銃砲に通常使用される実包の名称を記載すること。
10　空気銃射撃競技のための射撃練習の用途に供する空気銃である場合には、その旨を備考欄に記載すること。ただし、空気拳銃については記載することを要しない。
11　譲渡（貸付）人欄には、当該銃砲の譲渡（貸付）人の住所、氏名その他必要な事項を記載すること。
12　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とすること。